

<基本方針>

- 安全、高品質、低コストな道路サービスの提供、道路事業関係者のプロセス改善、産業の活性化を目的に、良い技術は活用するという方針の下、これまで新技術の活用が十分でなかった異業種、他分野、新材料等も含め、新技術開発・導入を促進。
- このため、道路技術懇談会を設置し、毎年度の取組(新技術導入促進計画)を見える化。その際、技術公募や意見交換により検討を加速化するとともに、現場の課題解決や導入方法(基準類への反映)検討のための体制も強化。
- これらの取組により、新技術導入の隘路となっている公共調達の際の壁や現場に内在されているニーズの抽出等の課題を克服。

<重点分野>

斬新なアイデアを取込んだ 道路の多機能化・高性能化

- ◆ 斬新なアイデアの取込み
 - ・ 従来の道路の概念にとらわれない新しい技術の取込み
- ◆ 新領域へのチャレンジ
 - ・ 道路と他分野との連携を積極的に推進

〔斬新なアイデアや新領域の例〕

低位置照明

非接触充電技術

業務プロセスの効率化に 資するICT技術等の活用

- ◆ 実務の効率化の例
 - ・ 計測・モニタリング技術の活用など、近接目視によらない点検・診断方法の確立・導入
 - ・ 衛星によるモニタリングなど、防災点検・土木構造物点検を効率化 等

ドローン(点検技術)

衛星技術

道路技術懇談会

- ✓ 促進計画で取組む技術に対するリクワイヤメントの抽出
- ✓ 導入促進機関の審査

技術公募 + 意見交換

検討を
加速化

新技術・新工法の導入を可能とする技術基準類の整備

- ◆ 新技術・新工法の積極的な導入
 - ・ 近年開発が進む軽量・高耐久の材料等を設計段階から取り込み、工事への活用を推進
 - ・ 活用を可能とするための要求性能や性能の確認方法等の充実

<体制強化>

導入促進機関

- ✓ 技術の導入方法の検討
- ✓ 技術の公募・実証
- ✓ 従来技術との比較

異業種・他分野とのイノベーション

①安全、高品質、低コストな道路サービスの提供

②道路事業関係者のプロセス改善

③産業の活性化